

鹿児山地区活性化計画 改善計画書

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
宮崎県	宮崎県・高原町	鹿児山地区	平成 21 年度から 平成 22 年度まで	平成 21 年度
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
基盤整備（農用地等集団化）	経営体育成促進換地等調整 事業 21.5ha		高原町	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備 考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	1 年	2 年	50 %	

2 目標が達成されなかつた要因

国営事業推進員、担い手農家等を通じて事業説明を行い、事業採択への気運が徐々に高まっている状況ではあったが、鹿児山地区推進委員会の組織結成が予定より遅れたため、権利者に対する意向調査に時間を要してしまった。 このため、地元の合意形成が遅れる結果となり、目標である平成 22 年度中の事業採択を達成することが出来なかつた。
--

3 目標達成に向けた方策

目 標 達 成 年 度	23 年度
事 業 の 推 進 体 制	鹿児山地区畠地かんがい事業推進委員会を中心事業推進を図る。
具 体 的 取 組 方 策	本推進委員会の立ち上げ以降、合意形成が得られるよう断続的に地元説明会等を開催したことにより、当初目標の平成 22 年度中の事業採択は達成できなかつたが、当年度中までに事業採択申請を行うことはできた。 この採択申請により、平成 23 年度中に事業採択される見込みである。

4 改善計画に対する第三者の意見

(コメント)

地区推進委員会の立ち上げが遅れたことが、農地所有者の意向調査や合意形成を遅らせてきたことは問題である。しかしながら、委員会立ち上げ以降、鋭意説明会や合意形成の場を持ったことから 22 年度中に事業採択申請を行うことはできた。今後は、この合意形成をもとに、将来の営農に向けた課題をより具体的に明らかにし、土地利用調整の在り方、より良い機械利用組織、作目選択等についてさらに話し合いの場を重ねていくことが望まれる。

(九州大学院農学研究院 教授 福田 晋)